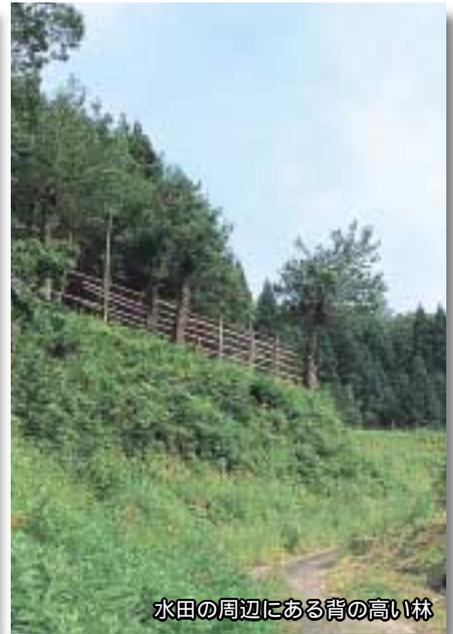


福井市上郷地区 - 山ぎわの水田・周辺の森林 -



山に囲まれた水田



水田の周辺にある背の高い林

選 定 理 由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 14種（面積約150ha）

自然の概要

山中に存在する水田と集落で、集落周辺には畑や水田が開かれ、これを取り囲むように背の高い林が存在しています。この良好な里地環境を利用してサシバ、サンコウチョウ、ムササビなどが生息しています。また、山ぎわの水田や休耕田にはシャジクモなどの水生植物やハッチョウトンボが生息・生育しています。

保全すべき主な環境

山田（山ぎわの水田および休耕田）
巨木林（集落周辺の背の高い林）

該当地の位置



里の生き物紹介 サンコウチョウ（スズメ目カササギヒタキ科）

全長17～45cm、長い尾をひらひらさせながら優雅に飛び、目の周りがコバルト色をした美しい鳥です。暗い林の中を飛び回り、飛んでいる昆虫を空中で捕まえて食べます。

日本には夏鳥として渡来し、本州から屋久島までの各地で繁殖し、樹皮を主に使ってコップ状の巣を作ります。また、つがいで縄張りを持ち、訪れる場所は毎年決まっているようです。

県内では、標高の低い場所にある、巨木がたくさんある森で観察されますが、すみかにしている場所は多くありません。

保全すべき環境に生息・生育している生物



サシバ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息



サンコウチョウ
県域準絶滅危惧
大径木の社寺林、スギ林、落葉広葉樹林に生息



ハッチョウトンボ
要注目
日当たりのよい湧き水のある湿地や休耕田に生息



アオシギ
営巣地は山地の溪流近く
の草原



ムササビ
樹洞のある大径木林に生息